

## 【スペシャルインタビュー】

今回は、弊社創立125周年記念特集（その2）として、『幸せ！ボンビーガール』（NTV）の人気コーナーである上京ガールに出演で注目の川口葵さんにお越しいただき、125周年のことからウィズコロナのニューノーマル時代への取り組みまで幅広く、弊社社長にインタビューをしていただきました。



## 【創立125周年について】

早速ですが、ダイトウボウ株式会社は来年2月に創立満125周年を迎えるとお聞きしました。私には途方もない歴史なのですが、社長としてどういうお気持ちですか？

私はたまたま節目の年に社長を拝命していますが、一般企業の寿命が30年と言われる中、先輩諸兄や長年のお取引先のお陰で125年という歴史を紡いでこれたことにただ感謝するばかりであり、改めて身の引き締まる思いです。

## 【コロナ禍での業績】

コロナ禍での企業業績は明暗がはっきり出ているように思いますが、御社の業績は如何でしたか？

当社は、これまでのところ、ヘルスケア事業でのマスクやガウンなど医療用品は受注が増えたものの、休業を余儀なくされた商業施設事業やファッション市場の低迷による影響を強く受けています。ただ、映画「鬼滅の刃」の大ヒットなどで、商業施設の客足が回復しているので今後は改善を見込んでいます。

## 【今年度業績予想の公表】

今年度の業績予想を公表されましたが、コロナ禍の影響が残るなか想定通りに進むのでしょうか？

大切なポイントですね。コロナの影響は今年度中に解消するとは見ていません。むしろ、年末年始を挟んで第三波が来ると想定しています。ただ、その場合でも緊急事態宣言による商業施設への休業要請は可能性が低いのではないかと考えています。いずれにしろ、相当な厳しさが残る環境が続くとみえていますので、逆境に負けない強い気持ちを社員一同が共有して、全力をあげて諸課題の達成に向けて取り組んでいく考えです。

## 【コロナ禍での生活】

ところで、川口さんは、女優になる夢を叶えるためにコロナ禍の真っ最中に上京してきて、当初はなかなか所属事務所も見つからず苦労したと思います。その逆境を乗り越えて今がある訳ですが、そこにはコロナ禍であえぐ多くの企業に相通じるものがあると思います。



確かに3月に上京したときは事務所も決まらずアルバイトもできず、関西にいる家族と会いたくてもなかなか会えず、とても寂しい気持ちでした。でも、持ち前の「負けず嫌いな性格」と「成長したい」という強い気持ちを持ち続けたことが幸いしたと思います。東京での新生活が嬉しくて、頑張ろうという前向きな気持ちが勝っていたような気がします。



老舗企業といえども、結局は今生きている一人ひとりの人間が動かしていることに変わりなく、おっしゃっていることの基本は同じだなと改めて思います。当社の経営理念の「進取の精神」は、自ら進んで新しいことを取り込み変化に柔軟に対応する精神です。私も社員と一緒にコロナ禍を



言い訳にせず、新しいビジネスチャンスを掴んで成長の足掛かりにしようと話しています。ウィズコロナのニューノーマル時代だからこそ踏み出せる新たな一歩があると思っています。そういう意味で、私たちが現状に甘んじることなく成長したいと強く願っています。

## 【成長投資：新館サントムーン オアシス】



私は頂いたお仕事を全力でやり遂げようと思っています。山内社長のお言葉を聞いて少し自信が湧いてきました。御社は、コロナ禍の環境にあっても新しい事業をスタートされていますね。



中期経営方針に則った成長投資である新館「サントムーン オアシス」を今年の3月に開業しました。地元の期待を背負ってスタートし、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言により4月下旬から一時休業を余儀なくされて以降も、営業再開を通じて地域住民の生活に貢献すべく施設の安定的な運営に全力を注ぎました。この新館「サントムーン

ン オアシス」を含む静岡県有数の商業施設「サントムーン柿田川」では、まだ一部の業態で厳しい環境が続いており、新型コロナウイルス感染症の第3波も気になりますが、新館オアシスの効果や映画「鬼滅の刃」効果も得て、業況の早期回復により地域のライフラインとしての役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。



新館「サントムーン オアシス」



ファッション関係のOEM営業や、対面販売が中心の機能性寝具営業はコロナ禍の影響が少し遅れて出てきており、第2四半期の落ち込みが第1四半期よりも大きくなりました。しかし、秋冬市況から徐々に戻りつつあります。また抗菌・抗ウイルス素材やコロナ禍の影響の少ない官需営業は底堅い動きとなっています。



## 【現中期経営方針の取り下げと新中期経営計画の策定】



現中期経営方針の取り下げと新中期経営計画の策定についてもリリースされましたが、どういった狙いなのでしょうか？



ウィズコロナのニューノーマル時代は、これまでの戦略だけでは対応しきれない部分があります。また新会計基準の導入で来年度から

収益認識基準の変更があります。こうした外部環境の変化を踏まえると、新しい中期経営計画を策定することが望ましいと判断した次第です。ただ、当期の業績予想が現中期経営方針の損益目標を下回る見込みであることは誠に遺憾であり、株主の皆様へ甚だ申し訳ないと思っております。ダイトウボウグループとしましては、新しい中期経営計画をしっかりと遂行し、中長期的な企業価値を向上させることが肝要と考えております。株主の皆様にはご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【新中期経営計画策定に向けた新しい取り組み】

来年度からの新中期経営計画のスタートに向けて、既に着手している新しい取り組みがあるようですが、簡単にご説明いただけますか？

#### 【新しい取り組み① ヘルスケア事業の官需市場参入】

はい、来年度からのスタートダッシュに向けて、いくつかの新しい取り組みを始めております。

その一つが、ヘルスケア事業の官需市場参入です。既に複数の入札参加資格の申請を進めています。当社は自衛隊をはじめ官需市場でのユニフォームビジネスで長年の実績がありますので、今後はヘルスケア事業でも本格的に参入したいと考えています。官需市場は、医療系に加え、コロナ禍でも安定的な需要があるなど今後が期待できる市場であると考えています。

#### 【新しい取り組み② ECビジネスの刷新・強化】

ヘルスケア事業におけるECビジネスを抜本的に見直し、刷新・強化することとし、サイトのリニューアル、専門チームの立ち上げなどを下期から既にスタートさせました。昨年事業買収した和田哲カンパニーには当社よりも実績のあるECビジネスが含まれており、そのノウハウを一段レベルアップして、インスタグラムやTwitterなどのSNS連

携を強化し、B to BとB to Cの両方をターゲットに市場開拓を図る考えです。川口葵さんはSNSをうまく活用されていますね。当社もそうしたSNSも活用していく考えです。また、Zoomを活用してオンライン接客も実施する考えです。これにより、当社にとっての新しい市場開拓に繋がりたいと思います。

私もいろいろなSNSを利用しています。SNSは、いまや販促ツールとしても様々な分野で活用されていますね。



抗菌性・発熱性素材のテンセル繊維を利用した当社ヘルスケア商品「ましゅまるーる」をインタビュー中に使用。

#### 【新しい取り組み③ ジェンダーフリー推進部の新設】

11月1日付で女性だけの営業組織であるジェンダーフリー推進部を、繊維・アパレル事業本部内に新設し活動を始めました。当社では初となる部長以下全員が女性だけの組織 Unisex Product Teamにより、働く女性の味方をテーマに、これまでにない柔軟な発想と感性を前面に出すことで新たなビジネスチャンスの獲得を期待しています。

業界紙（織研新聞）の一面で取り上げられたとのことですね。SDGsの一つの「ジェンダー平等の実現」を事業拡大に繋げようとお考えなのですね。私も女性として素晴らしいことだなと思います。



### 【新会計基準の適用】

ところで、来年度の新会計基準の適用により何がかわるのですか？

詳細はこれからですが、簡単に申し上げますと、一部の事業における収益認識基準が変わり、売上高が圧縮される見込みですが、一方で利益水準に変化を生じないため、利益率が向上することが見込まれます。



### 【現中期経営方針から引き継がれる課題】

現中期経営方針のその他の課題は引き継がれるのですか？

はい、①財務マネジメント、②人材育成、③コーポレートガバナンスコードに沿った経営の徹底という3つの課題は、着実に進展しており、今後も当社の重要な経営課題であることに変わりはありません。成長投資のため増加した有利子負債につきましても計画通りに圧縮しています。また、本中期経営方針期間の2023年3月までに復配に目途を付ける方針について変わりはなく、新しい中期経営計画でも同様の課題を引き継ぎ、次の中期経営計画期間内の2024年3月までに復配を実現したいと考えています。

### 【最後に】

ありがとうございました。私は自らのSNSのフォロワーが、わずか数ヶ月で20万人近くまで増え、注目いただき、急な変化に戸惑いも感じながら、夢を諦めずに追いかけることで、人生が変化してきていることを実感しています。これからも頂いたお仕事を全力で頑張る新しい未来に向かって成長を続けたいと思っています。今日は、歴史ある老舗企業を変貌させ一段と成長させようという山内社長の経営者としての強い意志を伺うことができ、大変有意義でした。

こちらこそ、今日はありがとうございました。実はインタビュー用に用意したテーマや私の話の内容が川口さんには専門的で難しすぎるのではないかと心配していました。しかし、最後まで丁寧に聴いていただいたので安心しました。川口さんの、自然体でいながら芯の強い気持ちと、変化を喜び成長しようというスタンスは大切だと思います。当社グループも、歴史の重みを感じつつ、一日一日を大事に歩んでいきたいと思っています。一緒に成長できたら良いですね。お互い未来に向かって頑張りましょう。

#### 川口 葵

1998年11月26日生まれ 兵庫県出身  
2020年春、コロナ禍のなか、夢を追い求めて単身上京。その後、『幸せ！ボンビーガール』（NTV）の人気コーナーである上京ガールへの出演をきっかけに芸能事務所への所属が決まり、本格的に活動をスタート。現在、将来を期待される新人女優・タレントの一人である。

撮影場所：弊社サントムーン柿田川にゆかりの東京丸の内KITTEビル6階のイタリアンレストラン「アルカナ東京」のテラス席をお借りしました。